

鏡川流域パートナーシップだより No.52 R5.5.16



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

課題探求！高知大学地域協働学部1回生が鏡川流域を「歩く」

5月10日(水)に、高知大学地域協働学部1回生を対象にした「課題探求実践セミナー」の授業で、鏡川河畔を歩いて清掃活動を行う課外学習が行われました。学生の皆さんはチームに分かれて、ゴミを拾いながら鏡川河畔の6つのチェックポイントを訪れ、課題に挑戦しました。

「鏡川を楽しむぞ！オー！」のかけ声で、高知競輪場北入口からスタート



チェックポイント① 山内神社対岸 課題：「竜とそばかすの姫」の舞台で写真を撮ろう！



細田守監督のアニメ映画「竜とそばかすの姫」に登場した柳原橋付近の風景を撮影。映画を見たことがあり、この場所を訪れてみたかったという学生さんの声も聞こえました。鏡川を背景に、チームメンバーや友人同士で楽しそうに写真撮影をする姿が印象的でした。

チェックポイント② 山内神社の森 課題：敷地内を散策して、「ぼっちり」の体験チケットで感想を報告しよう！



鏡川清流保全条例に基づき「自然環境保全区域」に指定されている山内神社の森。学生さんは、スマホアプリ「ぼっちり」の体験チケット(当該のスポット：鏡川流域パートナーシップが発行)を使い、散策した感想をその場で送信しました。

☞ 学生さんの感想(一部抜粋)

- ・川も近くあって、空気が気持ちよかったです。木もたくさんあったし、神社もきれいだったので、また散歩に行きたいです。
- ・神社が直線になっていて歩きやすかったです。木の間から見える川が映えていて綺麗だった。
- ・街の人や神社の人によってしっかり手入れされていると感じた。また、緑が多く、気を休めたい時に来るのもいいなと感じた。

後日、学生さんからいただいた感想を山内神社の社務所の職員さんに報告すると、「有難いことです。ゴミが落ちてない、きちんと管理されている等とおっしゃっていただき、日頃の苦勞が報われたようです。今後も皆さまに気持ちよく散策いただけるよう願っております。」と喜んでいただきました！

チェックポイント③ 鏡川みどりの広場 課題：魚を見つけて「ぼっちり」の体験チケットで情報を教えよう！

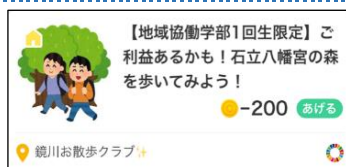


学生の皆さんは、みどりの広場で鏡川の水面を間近で観察し、川の透明感に驚きながら、「小さな魚がたくさんいる！」と魚を探して楽しそうに過ごしていました。そして、見つけた魚の情報を体験チケット(市民などが運営するスポット：みんなの鏡川水族館が発行)を使って送信！すぐにスポットから承認され、100ぼっちりを受け取っていました。

- ・波もなく水面が穏やかだったが、大きな魚影は見つけられなかった。名前は分からないが稚魚の群れを見つけた！
- ・メダカより小さい大群の魚が橋の近くにいました。

☞ 学生さんからの魚の目撃情報(一部抜粋)

チェックポイント④ 石立八幡宮の森 課題：敷地内を散策して、「ぼっちり」の体験チケットで感想を報告しよう！



鏡川清流保全条例に基づき「自然環境保全区域」に指定されている石立八幡宮の森を散策し、体験チケット(市民などが運営するスポット：鏡川お散歩クラブが発行)で散策の感想を送信！なお、このチケットはお賽銭のかわりに200ぼっちりをスポットに「あげる」内容です。



☞ 学生さんの感想(一部抜粋)

- ・隠れ家的な神社で地域の人でも何人かいて、地元で愛されているのが伝わってくる。
- ・どんな神社かもっと知りたい！階段を登るのが大変だったけど神聖な雰囲気でもよかった！
- ・自然を感じられました。山に囲まれて風もよく通り涼しい、いい場所でした。
- ・静かで雰囲気も良くて個人的にまた来たいと思います。

チェックポイント⑤トリム堰 課題：鏡川にまつわる困りごとを見つけて、「ぼっちり」の体験チケットで報告しよう！



トリム堰まで来たところで、学生さんが見つけた鏡川の課題や困りごとを体験チケット（鏡川流域関係人口講座2期生のスポット：鏡川流域関係案内人/R 山本翔太郎が発行）を使って報告してもらいました。学生さんはゴミを拾いながら鏡川沿いを歩く中で、鏡川の課題にも目を向けてくれました。今後、課題の解決策を考えていきたいです。 ☞ 学生さんから報告のあった課題(一部抜粋)

- ・川辺にゆっくり休む場所がなかった。
- ・鏡川にフラッと訪れるにはまだハードルが高いと感じるので、お散歩コースやランニングコースなどを作って気軽に訪れられるようにしてほしいです！
- ・ゴミが多い、氾濫する危険性が高い。
- ・所々でタバコの吸い殻等が散見されたので、きれいな川を実現させたいと思う。
- ・ゴミが多くて、道路から下に行くのがちょっと大変。

チェックポイント⑥高知競輪場北入口 課題：鏡川沿いを歩いて思い出に残ったことを、「ぼっちり」の体験チケットで報告しよう！



チェックポイントを回り、スタート地点である高知競輪場北入口に戻って来たところで、今回の課外学習で思い出に残ったことを体験チケット（学生団体が運営するスポット：学生団体 ConCernが発行）を使って報告してもらいました。高知県外出身者が多数を占める地域協働学部の学生さんにとって、鏡川や高知市の自然、街の雰囲気などが新鮮に感じられ、印象に残ったようです。 ☞ 学生さんから報告のあった思い出(一部抜粋)

- ・鏡川が思ったより深くてびっくりしました。深いのに底が見えるのは相当綺麗なんでしょうなと思いました。竜とそばかすの姫の場所で思ったより綺麗に写真を撮れたのが楽しかったです。
- ・正直に言うと意外に遠くて歩き疲れました。しかし、今まで鏡川に関わる機会はありませんでしたが、今回の体験を通して鏡川をもっと近くに感じる事ができたと、メンバーとの仲も深まったように感じています。
- ・川沿いを歩いていると、県外出身の私が想像する川と違いました。川が綺麗で魚もいて、川沿いもほとんどゴミがなく、とても綺麗でした。周りにマンションや道路があっても、趣深い神社があったり、大きな木があったり、色々な雰囲気を感じられる川だと思いました。夏にも一度、遊びに来てみたいです。
- ・通学路として親しんできた鏡川ですが、歩いたことはなかったのでとても新鮮な気持ちでした。



地域協働学部1回生の皆さんにとっては、今回が初めての実習授業となりました。実際に地域に出て地域の現状を知り、地域課題を考える貴重な学習の場として鏡川を選んでいただき、感謝でいっぱいです。同じ学部の仲間と一緒に鏡川を歩いた経験が、今後の学生の皆さんの学びや気づきのきっかけになれば、とても嬉しいです。

また、課外学習が終わったあとも、まちのコイン「ぼっちり」内で発行されている体験チケットから興味のあるものを自由に活用し、鏡川や高知市の自然・人と継続的に関わりを作ってくれている学生さんもあります。ぜひ、学生の皆さんの自発的な活動や学びを後押しするツールとして、今後も「ぼっちり」を活用してもらえればと思います。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android